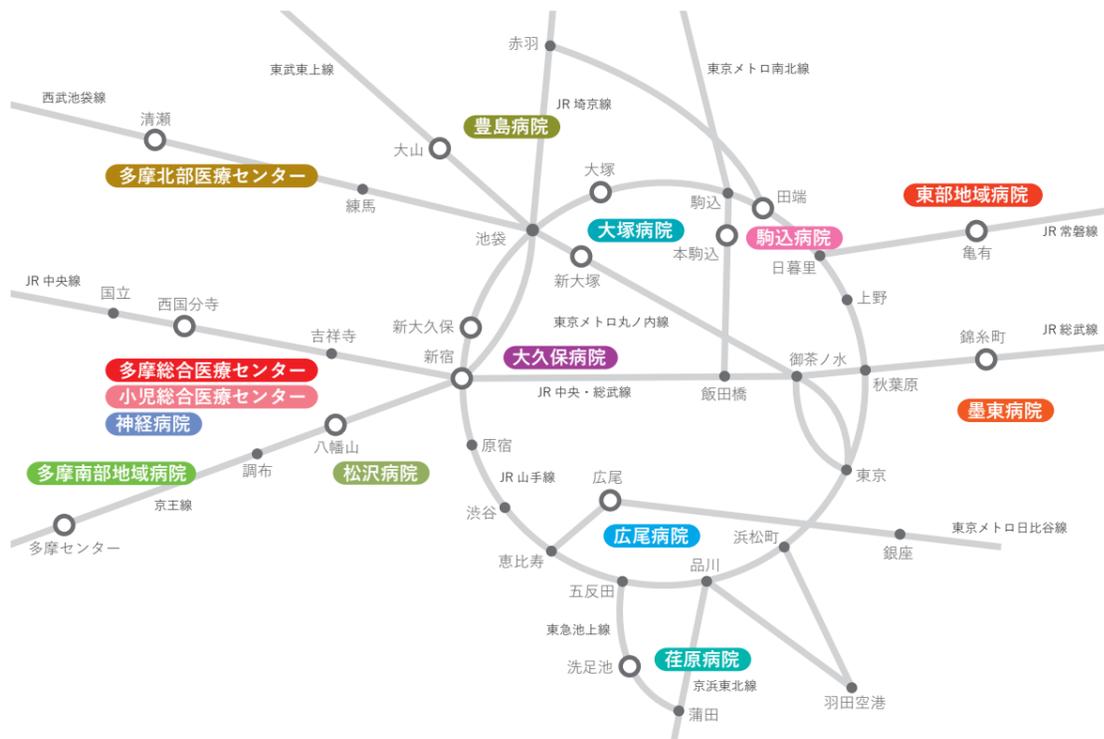


病院一覧

● 広尾病院	☎ 03-3444-1181	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿二丁目34番10号
● 大久保病院	☎ 03-5273-7711	〒160-8488	東京都新宿区歌舞伎町二丁目44番1号
● 大塚病院	☎ 03-3941-3211	〒170-8476	東京都豊島区南大塚二丁目8番1号
● 駒込病院	☎ 03-3823-2101	〒113-8677	東京都文京区本駒込三丁目18番22号
● 豊島病院	☎ 03-5375-1234	〒173-0015	東京都板橋区栄町33番1号
● 荏原病院	☎ 03-5734-8000	〒145-0065	東京都大田区東雪谷四丁目5番10号
● 墨東病院	☎ 03-3633-6151	〒130-8575	東京都墨田区江東橋四丁目23番15号
● 多摩総合医療センター	☎ 042-323-5111	〒183-8524	東京都府中市武蔵台二丁目8番29号
● 多摩北部医療センター	☎ 042-396-3811	〒189-8511	東京都東村山市青葉町一丁目7番1号
● 東部地域病院	☎ 03-5682-5111	〒125-8512	東京都葛飾区亀有五丁目14番1号
● 多摩南部地域病院	☎ 042-338-5111	〒206-0036	東京都多摩市中沢二丁目1番2号
● 松沢病院	☎ 03-3303-7211	〒156-0057	東京都世田谷区上北沢二丁目1番1号
● 神経病院	☎ 042-323-5110	〒183-0042	東京都府中市武蔵台二丁目6番1号
● 小児総合医療センター	☎ 042-300-5111	〒183-8561	東京都府中市武蔵台二丁目8番29号

※神経病院、小児総合医療センターでは初期臨床研修を実施していません。



地方独立行政法人
東京都立病院機構

臨床研修医 募集案内

*Tokyo Metropolitan
Hospital Organization*



- 広尾病院
- 大久保病院
- 大塚病院
- 駒込病院
- 豊島病院
- 荏原病院
- 墨東病院
- 多摩総合医療センター
- 多摩北部医療センター
- 東部地域病院
- 多摩南部地域病院
- 松沢病院



地方独立行政法人 東京都立病院機構 法人本部 総務部 人事課 人材育成グループ

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館3階 電話番号 03-5577-2141



令和6年6月発行 登録番号6(2)



Tokyo Metropolitan Hospital Organization

地方独立行政法人 東京都立病院機構について

令和4年7月、都立病院と公社病院が一体となって「地方独立行政法人 東京都立病院機構」に移行しました。

東京都立病院 (8病院)

広尾病院
大塚病院
駒込病院
墨東病院
多摩総合医療センター
神経病院
小児総合医療センター
松沢病院

東京都保健医療公社 (6病院・1検診センター)

東部地域病院
多摩南部地域病院
大久保病院
多摩北部医療センター
荏原病院
豊島病院
東京都がん検診センター



地方独立行政法人
東京都立病院機構
Tokyo Metropolitan Hospital Organization

東京都立広尾病院
東京都立大久保病院
東京都立大塚病院
東京都立駒込病院
東京都立豊島病院
東京都立荏原病院
東京都立墨東病院
東京都立多摩総合医療センター
東京都立多摩北部医療センター
東京都立東部地域病院
東京都立多摩南部地域病院
東京都立神経病院
東京都立小児総合医療センター
東京都立松沢病院
東京都立がん検診センター

※神経病院、小児総合医療センター、がん検診センターでは初期臨床研修を実施していません。

令和4年
7月誕生

全14病院・1検診センターの
新しい名称はこのようになりました。



Tokyo Metropolitan Hospital Organization

都立病院機構の目指す方向性

高齢化や医療の高度化など医療環境の変化のスピードが加速する中でも独法化のメリットをいかして、柔軟な人材確保や迅速な経営判断などにより都民ニーズに機動的に対応。

行政的医療等の一層の充実

- 行政的医療等の充実・強化
- 災害・感染症等への着実な対応

地域医療の充実への貢献

- 地域包括ケアシステム構築への貢献
- 地域とともに人材を確保・育成・活用

将来にわたって、都民の誰もが質の高い医療を受けられ、安心して暮らせる東京を実現

Tokyo Metropolitan Hospital Organization

行政的医療とは

項目及び考え方	医療課題
法令等に基づき対応が求められる医療	<ul style="list-style-type: none"> ●精神科救急医療 ●医療観察法医療 ●結核医療 ●感染症医療(主に一類・二類) ●災害医療
社会的要請から特に対策を講じなければならない医療	<p>都民ニーズ、患者ニーズと比較して、一般医療機関等のサービス提供が質的・量的に不足する医療分野について、都の医療政策を推進する上で担うべき医療</p>
一般の医療機関での対応が困難な医療	<ul style="list-style-type: none"> ●小児専門医療(心臓病、腎臓病等) ●難病医療 ●アレルギー疾患医療(重症、難治性) ●精神科身体合併症医療 ●精神科専門医療(アルコール、薬物依存等) ●造血幹細胞移植医療 ●エイズ医療 ●救急医療(熱傷等) ●障害者合併症医療 ●障害者歯科医療 ●島しょ医療
都民ニーズが高く高度な医療水準とそれを支える総合診療基盤により対応する医療	<ul style="list-style-type: none"> ●周産期医療(MFICU、NICU対応等) ●がん医療(難治性、合併症併発等) ●救急医療(三次、CCU、SCU、二次(休日・全夜間))
新たな医療課題に対して先導的に取り組む必要がある医療	<ul style="list-style-type: none"> ●小児がん医療 ●児童・思春期精神科医療 ●移行期医療 ●外国人患者への医療



01

基本的診療能力の修得を ベースとしたプログラム

各病院では、臨床研修の基本理念※を遵守した研修プログラムを用意しています。また、必修科目については、全てのプログラムで内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修研修とし、それらの分野の到達目標が達成されるように病院ごとにプログラムを立案しています。目標が達成されていることの確認に研修評価を実施しています。

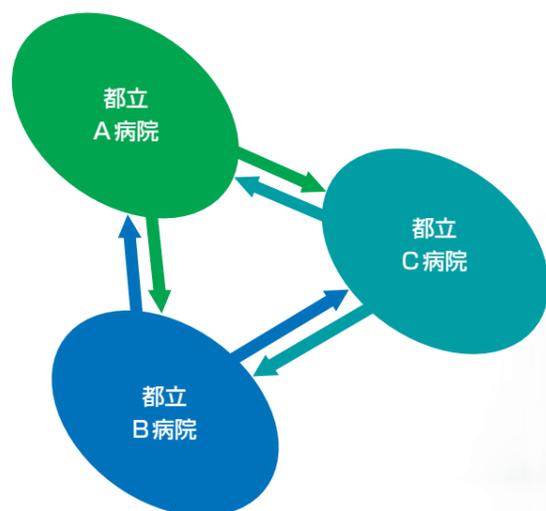
※臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

02

病院の特色を活かした プログラム

各病院では、それぞれの特色を活かした魅力ある研修プログラムを用意しています。研修プログラムの詳細については、各病院のホームページをご覧ください。また、臨床研修病院間では下図のような連携体制を構築しており、その結果として各病院の特色を活かした魅力ある研修プログラムが可能になっています。必要に応じて複数の病院で研修を行うことが特徴のひとつです。

※採用選考及びマッチングの希望順位登録は病院ごとに行います。



03

東京医師アカデミーとの 整合性を重視したプログラム

基本的な診療能力を土台とし、さらに総合診療能力を兼ね備えた専門医を育成する専門医受験資格取得等を目的とした東京医師アカデミーの研修プログラム（5ページ参照）と整合性を持たせた研修プログラムを用意しています。専門医受験資格取得は東京医師アカデミーの目的の一つになっています。

04

研修成果の発表、 指導医と研修医の交流

毎年2月頃に、12病院の各病院代表レジデントが研修成果を発表し、指導をおおぐ「ジュニアレジデント合同発表会」を開催しています。この発表会は、研修医が臨床研修の成果を発表することにより、お互いに医師としての視野を広げることを目的としています。

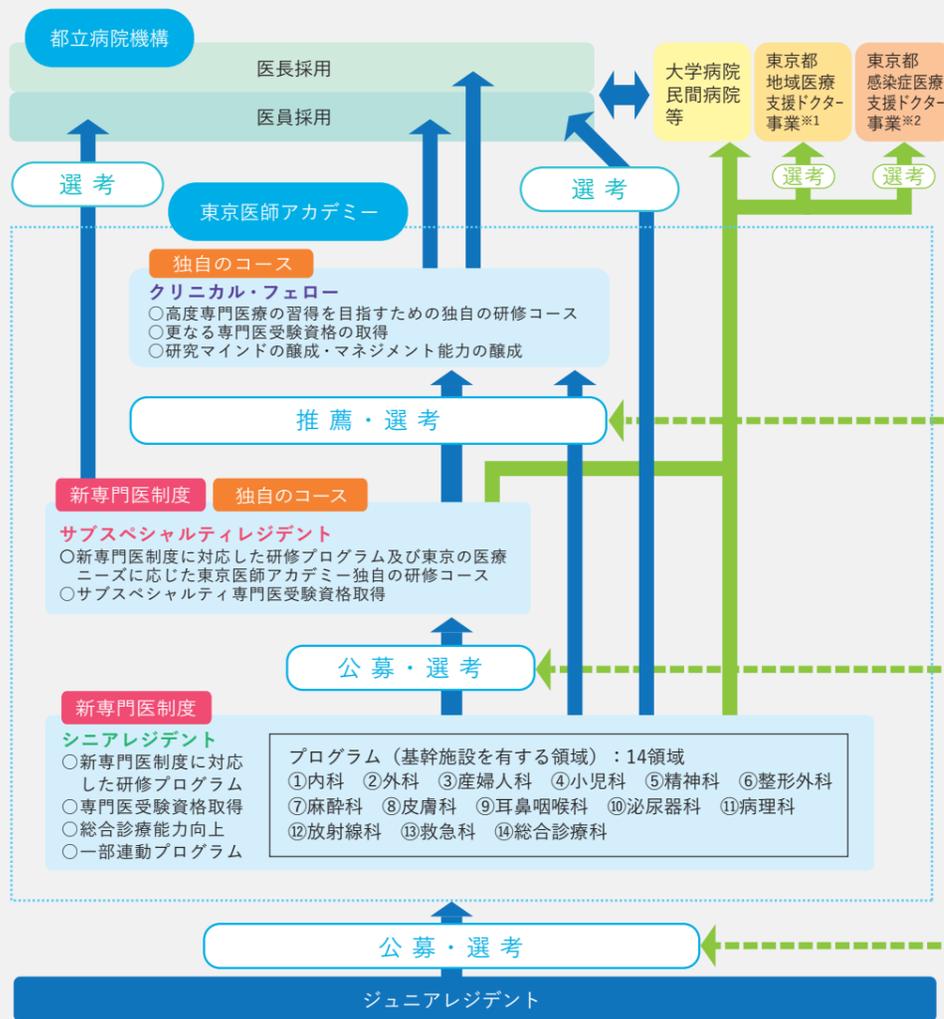




東京医師アカデミーについて

2年間の基本的診療分野の研修後、希望者は選考により、「東京医師アカデミー」の体系の中で、専攻医として、専門医受験資格取得等を目的とした専門臨床研修を受けることもできます。また、シニア終了後に、より高度な専門臨床能力を身につけたい方については、クリニカル・フェロー、サブスペシャリティレジデントの道も用意されています。

● 地方独立行政法人 東京都立病院機構での東京医師アカデミーの体系



※1 東京都地域医療支援ドクターとは、東京都(保健医療局)が地域医療の支援に意欲を持つ医師を採用し、医師不足が深刻な市町村公立病院等に一定期間派遣する事業

※2 東京都感染症医療支援ドクターとは、東京都(保健医療局)が感染症医療に意欲を持つ医師を採用し、感染症の臨床または公衆衛生に携わる医師を養成する事業

東京医師アカデミーは14病院で7,000床を超えるスケールメリットと豊富な症例を活かし、専門臨床研修について、カリキュラムの充実や指導体制の強化等を図り、これまで以上に、臨床を重視した質の高い医師を育成するシステムです。



令和7年度 応募資格

	募集人員		選考日程(予定)	
	医科	歯科	医科	歯科
広尾病院	6名	1名	9/14(土)	9/12(木)
大久保病院	4名	—	8/23(金)	—
大塚病院	6名	1名	8/3(土)	8/23(金)
駒込病院	12名	1名	8/17(土)	8/17(土)
豊島病院	6名	1名	8/24(土)・25(日)	9/7(土)
荏原病院	5名	1名	8/22(木)・23(金)	9/6(金)
墨東病院	14名	1名	8/16(金)・17(土)	8/24(土)
多摩総合医療センター	13名	1名	8/31(土)	9/7(土)
多摩北部医療センター	5名	1名	8/3(土)・10(土)	8/30(金)
東部地域病院	3名	—	7/22(月) 8/5(月)・26(月)	—
多摩南部地域病院	6名	—	8/6(火)・20(火)	—
松沢病院	8名	—	8/24(土)	—

応募資格	令和7年施行の医師国家試験を受験する予定の方
処遇(令和7年度)	<p>[身分] 東京都立病院機構 任期付病院職員</p> <p>[勤務形態] 週5日勤務(宿直あり)</p> <p>[有給休暇等] 1年目10日付与。他に夏季休暇等あり</p> <p>[報酬] 採用前に改定があった場合は、その定めによる。月額約318,840円(宿直月4回の場合)他に賞与等あり</p> <p>[保険] 健康保険、厚生年金保険あり</p> <p>[宿舎] あり(詳細は、各病院にお問い合わせください。)</p>
選考方法/出願方法及び時期	各病院のホームページをご覧ください。
病院見学	各病院にお問い合わせください。
ローテイト	所属病院での研修で不足する症例や、経験できない症例がある場合は、病院間の連携により補うことができます。

注意事項 研修プログラム(募集人員及びスケジュールを含む)については、今後変更となる可能性があります。

研修プログラムの特徴

救急災害医療センターとして救急医療を重点医療としているため、多数の救急患者を経験でき、総合診療科、麻酔科、救命救急研修がセットで系統的に研修できるプログラムとなっています。また、総合診療基盤を有する地域の基幹病院として急性期医療を担うことから、一般臨床でほとんどの疾患、病態を経験することができます。

さらに、先進的な高度医療も経験することができ、多くの学会の認定教育施設になっています。ローテイト診療各科のカンファレンス、各種の教育研修行事に加え、指導医による集合講義、臨床病理検討会など幅広い研修機会を設けています。地域医療として島しょでの研修を行うことができるほか選択科目では関心のある診療科で専門性を深めることもできます。

VOICE



研修責任者の声

循環器科医長
北條 林太郎 (研修管理委員長)

当院は、『東京ER・広尾』を標榜している救急医療、災害医療、島しょ医療、心臓病医療及び脳血管疾患医療を特徴としています。救急医療は1から3次救急を受けており、皆さんには、ER(内科・外科・小児)、救命救急センターの研修を通して、幅広い経験を積んで頂きます。東京都23区内唯一の基幹災害拠点病院として災害医療を学ぶ機会があり、また、島しょ医療として救急患者の航空搬送や、八丈島や小笠原諸島での研修を受けることもできます。その他、定期的に行われる集合講義や、年に数回ICLS、JMECCといった蘇生コースを開催し、皆様の研修をサポートしています。院内での症例・臨床研修報告を通じて、学会発表の指導も行います。また、令和5年度より新たに病院総合診療科が設立され、さらに幅広い研修を行える環境となりました。ぜひ、当院で充実した2年間の研修を送りましょう。

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	内科 (消化器内科)	産婦人科・小児科
5月		
6月		
7月	内科 (腎臓内科)	外科
8月		
9月	内科 (循環器科)	救命救急センター
10月		
11月	総合救急診療科	地域医療 (地域/島しょ)
12月	精神科	
1月	麻酔科	選択
2月	総合救急診療科	
3月	選択	

*一般外来研修は、内科ローテイト時又は地域医療研修時に並行で研修を行う。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R5採用)
齋藤 太郎

当院では初期研修医がリーダーとしてERでの1次、2次救急の対応にあたるため、鑑別診断を考え、必要な検査・診療をするための思考力を身に付けることができます。また指導医の先生方によって開かれる「集合講義」は実践的な知識ばかりで、すぐに実臨床に活用することができ、大変良い刺激となっています。

当院は東京都の島しょ医療の支援を担っており、急患搬送時のヘリ搭乗や離島研修では、院内で培った臨床能力を発揮する良い機会となります。また、当院で研修できない診療科は、協力型病院での研修も可能です。研修医同士は非常に仲が良く、ともに支えあいながら楽しく日々の研修を行っています。そんな当院の雰囲気を感じるためにも、ぜひ一度見学にお越しください。

救急・災害医療、島しょ医療、心臓病医療及び脳血管疾患医療に重点を置いた総合的な病院であり、『東京ER・広尾』を擁するほか、心臓循環器救急及び熱傷救急にも対応しています。東京都の基幹災害医療センターとなっています。

診療科目

内科、糖尿病内分泌科、消化器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、感染症内科、病院総合診療科、呼吸器科、循環器科、神経科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、救命救急センター、総合救急診療科、麻酔科、内視鏡科、輸血科、検査科

病床数

一般378 精神30



〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿二丁目34番10号
TEL 03-3444-1181

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

研修プログラムの特徴

当院ではさまざまな症例があります。新たな臨床研修制度に準拠し、内科(6診療科)36週、外科8週、麻酔科8週、小児科・産婦人科・精神科・地域医療各4週(院外)を必修とし、救急12週については、ブロック研修4週(院外ER)の他、麻酔科4週分、さらに当直を並行研修として含めることにより12週とします。希望選択期間は32週(4週単位を基本)あり8週以内の院外研修が可能です。一般外来研修は内科・外科研修期間中に週1回半日を並行研修として行います。

VOICE



研修責任者の声

麻酔科部長
芦刈 英理 (臨床研修管理委員会委員長)

大久保病院は日本一の繁華街、歌舞伎町にある急性期病院です。研修制度の特徴は、

- ①2次救急ながら、救急外来での症例を多く経験でき、一般の初期診療が学べます。
- ②内科では毎週月曜日に、内科認定医試験のレポートに基づいた形式で、経験した症例の提示を行い、症例報告の能力が身に付きます。
- ③研修医の数が少ないため、各科のローテーションで丁寧な指導を受けることができます。当院では、臨床研修医委員会を月に1回行い、研修医の習得度とともに指導状況をチェックしています。

大久保病院は、新宿区歌舞伎町に位置する区西部医療圏(新宿区、中野区、杉並区)の中核病院です。急性期病院として、腎臓科、循環器科、脳卒中医療、がん医療、救急医療(二次救急中心)を重点医療とし、また地域包括ケア病院をもつ地域医療支援病院として地域の医療機関や住民と密接につながった地域医療を推進しています。当院周辺には在留外国人も多く、病院の国際化にも取り組んでいます。

診療科目

内科(消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌代謝内科、腎臓内科、脳神経内科、救急科)、外科(一般外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科)、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科/移植外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、精神科、皮膚科、病理診断科

病床数

一般304

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	内科 (腎臓、消化器、呼吸器、糖尿病、循環器、神経)	救急
5月		地域医療
6月		精神
7月		小児科
8月		産婦人科
9月		選択
10月		
11月		
12月	外科	4週救急
1月		
2月		
3月	麻酔科	



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R5採用)
石崎 歩

歌舞伎町の中心に位置する大久保病院は、患者様の多様なニーズに対応し、地域住民に対して必要な医療を提供している市中病院です。4人という少数採用の枠組みにより、上級医との距離感が近く、個々の研修医に適した指導を提供しています。大学病院では手技の取り合いが起こると言われますが、大久保病院ではそのような競争がなく、研修医が自らの希望に沿った学び方を可能にしています。外科を志望する研修医であっても、希望すれば他の科の手術を見学する機会が与えられることもあります。

私たちの病院は、歌舞伎町の賑やかな雰囲気にふさわしく、活気に満ちた医療環境を提供しています。ぜひ、私たちの病院を将来のキャリアの選択肢として検討してみてください。



〒160-8488 東京都新宿区歌舞伎町二丁目44番1号
TEL 03-5273-7711

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

研修プログラムの特徴

内科6か月、外科、小児科、産婦人科、精神科(協力施設)各1か月、救急3か月(うち1か月は協力施設でのER研修も選択可)、地域医療1か月に加え、麻酔科1か月を当院の必修プログラムとしています。一般外来20単位は内科や地域医療などとの並行研修になります。自由選択期間には研修医自身が将来の希望やキャリア形成を考慮して診療科を自由に組み合わせることができるような柔軟な対応が可能です。

全研修期間を通じて8～11系列の上級医とともに当直を行い、初期救急の現場における高い臨床能力を培うことができます。さらに各科のカンファランス、指導医によるクルズ、臨床病理検討会、院内発表会、各種学会での発表など幅広い研修機会を設けています。

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	内科(呼吸器)	内科(循環器)
5月	内科(消化器)	救急2(連携)
6月	内科(糖尿病)	地域(連携)
7月	内科(腎臓)	自由選択:新生児科
8月	自由選択:麻酔科	自由選択:小児外科
9月	麻酔科	精神科(連携)
10月	外科	救急3:救命(連携)
11月	救急1	自由選択:緩和(連携)
12月	内科(脳神経)	自由選択:放射線科
1月	産婦人科	自由選択:検査科
2月	小児科	自由選択:整形外科
3月	自由選択:泌尿器科	自由選択:皮膚科

VOICE



研修責任者の声

腎臓内科部長
吉川 桃乃 (臨床研修管理委員会委員長)

当院はローテーション研修による人材の育成に力を注いでおり、充実した診療基盤とスタッフ間の顔の見える関係の両立が際立つ病院です。横の連携がよくフレンドリーな雰囲気です。十分な common disease の経験に加え、重点医療についての一歩進んだ研修を受けることもできます。常に意欲的に学べるよう、指導医を始めその他の職員が全員でサポートし、オールラウンドな診断能力、チーム医療を通じて患者を治療していく力を育みます。当院で充実した2年間を送ってみませんか。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R5採用)
宮入 優里

当院は413床の豊島区唯一の災害拠点病院です。周辺地域の多くの患者さんを受け入れていること、また総合周産期母子医療センターとして都内のハイリスク妊婦、新生児の救急搬送の受け入れを常時行っていることが特色です。

初期研修医は外来・病棟いずれにおいても主体的に患者さんに接し、それを上級医が隣で見守りご指導くださいます。月2回のクルズや年1回の症例発表会もあり、手厚い指導体制の恵まれた環境で研修することが出来ます。研修医同士は仲が良く、上級医の先生方は研修医全員の顔と名前を覚えてくださるほどアットホームな雰囲気です。そんな当院の魅力を知らうためにもぜひ一度見学にいらしてください。大塚病院でお待ちしております。

当院の重点医療は総合周産期母子医療・小児医療です。母体搬送や超低出生体重児の診療実績は都内有数です。地域中核病院として内科・外科をはじめとする総合診療基盤も充実しており、各種がん専門医による診断・治療から緩和ケアまで、リウマチ膠原病をはじめとする難病医療、地域医療との連携を重視した二次救急にも積極的に取り組んでいます。

診療科目

内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、精神科、児童精神科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、小児外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ膠原病科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、口腔科、麻酔科、放射線科、救急診療科

病床数

一般413



〒170-8476 東京都豊島区南大塚二丁目8番1号
TEL 03-3941-3211

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

研修プログラムの特徴

- (1) 内科系コース、外科系コースを設定しています。
- (2) 内科系コースは消化器、呼吸器、循環器、脳神経、血液、腎臓、肝臓、膠原病、糖尿病・内分泌に加え、腫瘍内科、感染症科、総合診療科など専門性の高い研修ができます。2か月の自由選択枠を設けています。
- (3) 外科系コースは外科(食道、胃、大腸、肝胆膵、呼吸器、乳腺)を6か月ローテートします。自由選択枠も3か月あり外科系診療科から選択可能です。
- (4) 救急部門、小児科、産婦人科など当院で経験が難しい部門は、連携する都立病院で研修できます(広尾病院、墨東病院、大塚病院、小児総合医療センターなど)。
- (5) 内科系、外科系ともに初期研修から後期研修(新専門医制度)、サブスペシャリティと縦に繋がる研修ができます。

研修スケジュール(例)

	●内科系の1例		●外科系の1例	
	1年次	2年次	1年次	2年次
4月	内科(1)	内科(6)	外科	選択
5月	内科(2)	選択(1)		選択
6月	総合診療科	選択(2)	内科(1)	外科
7月		地域	総合診療科	
8月	広尾ER	外科		広尾ER
9月	内科(3)		内科(7)	
10月	内科(4)	麻酔科		内科(5)
11月	小児科		精神科	
12月	産婦人科	内科(8)		小児科
1月	麻酔科		内科(9)	
2月		内科(10)		内科(2)
3月	内科(5)		内科(11)	

※選択1: 内科9科、腫瘍内科、感染症科の11科、および墨東病院ER、墨東病院救急救命センターから選択
※選択2: 臨床検査科(超音波)を除く各診療科

※外科系の内科ローテーション: 消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病内科、感染症科
※外科: 食道、肝胆膵、胃、大腸、乳腺、呼吸器

VOICE



研修責任者の声

膠原病科部長
瀬戸口 京吾 (研修管理委員長)

当院は下町風情が漂う谷根千(やねせん)地区に隣接する高台に位置しています。都道府県がん診療連携拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院、エイズ診療中核拠点病院としての専門各科と、それを支える一般診療各科が充実しています。臨床研修には恵まれた環境です。経験豊富な各診療科スタッフや先輩レジデントたちが熱心に指導してくれます。意欲のある皆さんを心からお待ちしております。



内科系ジュニアレジデント経験者の声

シニアレジデント(R3採用)
増田 優介

駒込病院で初期研修を行い、後期研修としてそのまま腫瘍内科へ進みました。当院の魅力は“がんセンター”としての学術・教育活動の活発さと“市中病院”としての症例数の多さだと思います。当院はがん・感染症センターであり、固形腫瘍や血液腫瘍をはじめとして希少癌やHIV感染症に関連した悪性腫瘍などもみることができます。上級医も非常に教育的で相談しやすくとても働きやすい環境です。学会発表も活発であり、私も上級医の指導のもと日本臨床腫瘍学会で発表させていただきました。同時に症例数も多く、内科新専門医制度の症例を集めることが容易です。連携施設も多く、ほかの都立病院や国立がん研究センターなどで研修することも可能です。連携施設の研修で不足分や伸ばしたいところを補うこともできます。

当院での研修をお考えの先生は是非一度見学にいらしてください。お待ちしております。

各診療科の総合基盤を備えた、がんと感染症を重視した病院です。臓器別、疾患別に37の診療科に分かれ、それぞれ先端的専門医療を提供しています。各診療科が協力して重症患者の診療、全人的医療を行っています。平成19年8月に「エイズ診療中核拠点病院」、平成20年2月に「都道府県がん診療連携拠点病院」、平成25年10月に「造血幹細胞移植推進拠点病院」、令和元年9月に「がんゲノム医療拠点病院」に指定され、全国から多数の患者を集めています。

診療科目

内科(消化器、呼吸器、循環器、脳神経、血液、腎臓、肝臓、膠原病、糖尿病・内分泌)、総合診療科、腫瘍内科、緩和ケア科、精神腫瘍科・メンタルクリニック、小児科、外科(食道、肝胆膵、胃、大腸、乳腺、呼吸器)、整形外科、リハビリテーション科、骨軟部腫瘍科、脳神経外科、皮膚腫瘍科、形成再建外科、腎泌尿器外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、感染症科、感染制御科、遺伝子診療科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科(診断部、治療部)、輸血・細胞治療科、内視鏡科、病理科

病床数

一般785 感染症30



〒113-8677 東京都文京区本駒込三丁目18番22号
TEL 03-3823-2101

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

研修プログラムの特徴

内科は呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌代謝内科、腎臓内科、神経内科、感染症内科、血液内科がある。まわれる科は選択となるが、6か月間しっかりと内科研修を行うことで、多くの内科疾患を経験し、診療にたずさわることができる。外科は3か月間の研修プログラムとしており、手技を習得する機会が多いのも特徴である。その他、地域医療(医師会の協力による地域医療機関で研修)、二次救急、周産期医療、精神科救急、二類感染症医療、緩和ケア等の特色ある機能を生かしたプライマリケアを中心とする初期研修を行う事ができる。

VOICE



研修責任者の声

腎臓内科部長
奥津 理恵 (臨床研修委員長)

豊島病院は板橋区を中心とした区西北部の中核病院です。内科や外科疾患も多く、多種多様な疾患の診療を経験することができます。また、救急医療・脳血管疾患医療・がん医療の重点医療の他、緩和ケア・精神科救急・周産期医療・感染症等も積極的に取り組んでいます。当院の研修では、プライマリ・ケアをしっかりと身に付けることができ、技術習得の機会が多い事が特徴です。研修医向けイブニングレクチャー、カンファレンスも行い、看護師やその他のコメディカルの連携がととても取り易く、アットホームである事も豊島病院の魅力です。沢山の経験を積みながら、充実した研修ができますので、是非お待ちしております。

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	内科 (28週) (呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・ 内分泌代謝内科・腎臓内科・神経内科・ 血液内科・感染症内科より6科選択)	地域医療 (4週)
5月		精神科 (8週)
6月		救急 (12週※4週まで麻酔科可)
7月		
8月	外科 (12週)	自由選択 (28週)
9月		
10月		
11月		
12月	小児科 (6週)	自由選択 (20週)
1月		
2月		
3月	産婦人科 (6週)	



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R5採用)
海老原 真優

豊島病院は区西北部の中核病院として周辺地域の多くの患者を受け入れており、研修に必要な診療科が揃っています。また2年次には自由選択が6か月あり、希望者は都立系列等での外部研修も可能で、個々の希望進路に合わせた柔軟な研修が可能です。少人数で症例・手技を経験でき、院内での講習会や研修医向けイブニングレクチャー等、豊富な学びの機会を得られます。病院全体の雰囲気もよく、働きやすい環境で、充実した2年間で過ごすことができると思います。ぜひ一度病院に見学にいらしてください。

地域医療支援病院として地域との連携を重視した医療を推進しているが、重点医療課題として(1)救急医療：急性期患者対象の三次救急に近い急性心筋梗塞・吐下血・脳卒中等を含め、二次救急医療を担っている。(2)がん医療：当院は東京都大腸がん・胃がん・診療連携協力病院に認定されており、高度の画像診断に基づく最先端化学療法・放射線療法や低侵襲の内視鏡手術を実施している。また、緩和ケア病棟を備え、癌患者の肉体的、精神的苦痛の緩和や家族に対する心理的支援に取り組んでいる。(3)脳血管疾患：脳卒中専門病床(SCU)を整備し、24時間体制で対応する脳血管疾患医療を行っている。その他の特色ある医療として、精神科救急、周産期医療、感染症医療等が挙げられる。

診療科目

内科、神経内科、内分泌代謝内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、感染症内科、緩和ケア内科、病理診断科、救急科

病床数

一般386 精神32 感染症20



〒173-0015 東京都板橋区栄町33番1号
TEL 03-5375-1234
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

研修プログラムの特徴

地域中核病院としてcommon diseasesを中心に幅広く症例を経験できます。二年目には都立墨東病院救命救急センターで三次救急(必修)を研修します。当院には膠原病内科、腎臓内科、血液内科がありませんが、選択期間を利用して、大久保病院腎臓病内科、東邦大学医療センター大森病院膠原病内科、都立駒込病院血液内科などで研修を行うことができ、内科系のすべての診療科を網羅しています。各診療科、コメディカルと多職種でのチーム医療を実践しており、アットホームな雰囲気によって指導医、上級医とマンツーマンできめ細やかな指導が受けることができます。

VOICE



研修責任者の声

小児科医長
滝 元宏

当院の初期研修プログラムでは、多様化を続ける医療に対応できる人材の育成と、キャリアパスの個性へ配慮し、自由度の高いプログラムを提供しております。二次救急病院、市中病院ならではの数多くのcommon diseasesを経験することができ、更に、各自の将来目標に合わせた個別ローテーションを組み、将来に活きるよう、幅広い選択肢の中から希望に合った研修を組むことが出来ます。また、研修医同士で経験を分かち合い、先輩医師から学び、お互いに切磋琢磨できる、厳しくも温かい研修環境もあります。皆さんの先輩として、臨床医の厳しさや喜びを分かち合いながら、充実した研修生活が過ごせる様にサポートをしていきたいと思えます。

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次	
4月	内科 (24週)	墨東救急 (4週)	
5月		産婦人科 (6週) 小児科 (6週)	
6月		地域医療 (4週)	
7月			
8月	救急部門 (4週)	精神科 (4週)	
9月		放射線科 (4週)	
10月		外科 (8週)	自由選択 (20週)
11月			
12月			
1月	麻酔科 (8週)		
2月	自由選択 (4週)		
3月			



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R5採用)
末 虎太郎

当院は東京都大田区の閑静な住宅街にある地域に密着した総合病院です。当院の上級医の先生方はとてもフレンドリーで丁寧な指導して下さります。当直は上級医1人・研修医1人で入るため放置されることなく成長することができます。手技の機会も十分にあり、また精神科、産婦人科、小児科、マイナー科が揃っているため、院内だけでほぼすべての研修をこなすことができます。ぜひ一度見学にいらして雰囲気を感じてみてください。

当院の理念は、「医療で地域を支える」であり、大田区、品川区を中心に地域に密着した中核病院として機能しています。二次救急、脳血管疾患および集学的がん治療を重点医療とし、東京都の感染症指定病院となっています。また、精神科医療等のいわゆる行政的医療も行っています。さらに、小児科、周産期医療も学ぶことができるまさに総合病院です。

診療科目

内科、循環器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、感染症内科、病理診断科

病床数

一般411 精神30 感染症20



〒145-0065 東京都大田区東雪谷四丁目5番10号
TEL 03-5734-8000
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

研修プログラムの特徴

- 1年次は、内科5～6か月、ER(救急医療研修)2か月とともに、外科、麻酔科は必修とし、小児科・産婦人科・精神科を研修する場合があります。
- 内科は①消化器 ②呼吸器 ③循環器 ④血液 ⑤腎臓・膠原病 ⑥内分泌・脳神経 ⑦感染症の7グループでの研修とします。
- 救急医療研修3か月については1年次の2か月間ERでの日中の診療と、2年次に月4回のER当直を従事することで3か月の研修とします。
- 2年次は、1年次の内科必修残、地域医療、小児科・産婦人科・精神科(1年次で研修を行っていない場合)、一般外来1か月、救命救急センター2か月は全員が必修で、残りの自由選択については各々の将来志望診療科・要望に応じて相談の上、設定していきます。

VOICE



研修責任者の声

脳神経内科医長
水谷 真之

日常診療から高度な専門医療まで幅広い診療を行う当院でのプログラムは、豊富な症例、教育熱心な指導医やシニアレジデントの存在など、医師の初期研修にふさわしい環境です。また、初期研修後の専門医コースも多数の基幹プログラムを有しており、初期研修から専門医制度での研修も続けて受けることも可能です。当プログラムではやる気に満ちた研修医を募集しています。ぜひ一緒に働きましょう。

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次	
4月	内科 (7グループの内3グループをローテート)	小児科	
5月		産婦人科	
6月		精神科	
7月		一般外来	
8月		地域	
9月		救命救急センター (3次救急)	
10月		ER(1・2次救急)	
11月	麻酔科	自由選択	
12月			
1月			
2月	外科 (1か月は一般外科以外の場合もあり)		
3月			

※詳しくはホームページをご参照ください。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R5採用)
越 悠仁

当院は23区東部の総合病院であり、周辺地域で発生する多様な疾患に対応できる、広域基幹病院の役割を担っています。昼夜問わず多種多様な症例を受け入れている救急部門、地域の基幹病院として多様な疾患に対応する各診療科での研修を通じて、将来どのような場面でも“動ける医者”になるための基礎作りとして十分な経験を積むことができます。後期研修も見据えられる充実した研修プログラムと十分かつ幅広い症例、全国から集まる血気盛んな同志といった恵まれた環境で、医師としてのスタートを切りませんか。皆様の見学を心よりお待ちしております。

墨東病院は東京都の区東部(墨田区、江戸川区、江東区および葛飾区の一部)の約百数十万人の医療圏をカバーする広域基幹病院です。周辺に同様の病院が少ないことから、あらゆる救急医療から、基幹病院としての専門性も必要とされる地域の最終病院です。

診療科目

消化器内科、呼吸器内科、内分泌代謝科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、総合診療科、循環器科、神経科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、新生児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、リウマチ膠原病科、歯科口腔外科、感染症科、救急診療科、救命救急センター、麻酔科、診療放射線科、輸血科、内視鏡科、病理診断科

病床数

一般719 精神36 感染症10



〒130-8575 東京都墨田区江東橋四丁目23番15号
TEL 03-3633-6151

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

研修プログラムの特徴

- 本物の実力をつけたい方のための教育環境
- プライマリ・ケア(6年間一貫教育)
 - コア・カリキュラムの実施
 - 年次別到達目標:(J1)単独診療能力、(J2)主治医能力
 - 総合診療能力の修得(2年間の救急外来研修)
 - 「けが」診療能力の修得
 - 独自の評価システム(救急外来グレード試験)
 - 予備枠(補修研修プログラム・拡張研修プログラム)の創設

VOICE



研修責任者の声

眼科部長
大野 明子(臨床研修管理委員長・プログラム責任者)

初期研修プログラムの選択に悩んでいる医学生の皆様へ
長い医師のキャリアのスタートという一生記憶に残る大切な時期を全国に多数ある初期研修プログラムのどれで過ごすか、難しい選択だと思います。
ぜひ目先のことでなく、将来どのような医療人になりたいか、よく考えてください。そのうえで、最初の2年間はしっかりプライマリケアを習得したいと決心したら、多摩総合医療センターをお勧めいたします。温かい、かといって生ぬるくはない研修環境は見学に来ていただくと感じ取れると思います。

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	救急外来	呼吸器
5月	脳外	
6月	麻酔科	精神科
7月		予備枠
8月	消化器	救命救急センター
9月		産婦人科
10月	放射線	小児科
11月	総合診療	
12月	循環器	救急外来
1月		内科2
2月	外科	整形外科
3月	予備枠	地域



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R5採用)
北川 紗英

私は当院の雰囲気の良いさに惹かれてこのプログラムを選択しました。実際に働いてみると同期は皆努力家でありつつも穏やかな性格で、いつも元気や刺激をもらいながら研修をすることができています。上級医も年次の近い先生方が多いため質問しやすく、小さな悩みも相談しやすい環境です。
また内科系から外科系まで様々な科をローテーションし、加えて通年で救急外来当直を経験することで、幅広く診療の基礎を身に着けることができていると感じています。
是非見学で当院のあたたかい雰囲気を体感してみてください!

多摩地域における総合的な医療機能を持つ病院として、救急医療、脳血管疾患医療、生活習慣病医療、難病医療、リハビリテーション医療、精神科救急医療、結核医療、障害者歯科医療及び造血幹細胞移植医療を重点医療とし、高度・専門医療を実施しています。

診療科目

総合内科、腎臓内科、消化器内科、内視鏡科、内分泌代謝内科、感染症内科、緩和ケア科、血液内科、脳神経内科、神経・脳血管内科、呼吸器・腫瘍内科、循環器内科、精神神経科、外科、乳腺外科、呼吸器外科(胸部外科)、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リウマチ膠原病科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理・検査科、救急・総合診療科、救命・集中治療科、ゲノム診療科

病床数

一般705 精神36 結核48



〒183-8524 東京都府中市武蔵台二丁目8番29号
TEL 042-323-5111

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

研修プログラムの特徴

本プログラムは基本的診療能力に重点を置いています。3年目以降の専門研修と連動させて、計5年間で一人前の臨床医(内科医・小児科医または総合診療医)を育成することを主眼としています。そのため、1年目の秋頃より自由選択期間を設け、将来進む可能性のある診療科をできるだけ早い時期に経験できるようにしています。2年次後半には、この期間を利用して弱い部分を補強したり、興味のある専門分野を重点的に研修したりすることも可能です。



研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	基礎研修	麻酔科
5月	基本研修(内科系)	産婦人科(多摩総合医療センター)
6月		精神科(国立精神・神経医療研究センター)
7月		地域医療(他院診療所)
8月		救急
9月	選択	自由選択6 ※2年次研修は応相談で時期の組替可。
10月	選択	
11月	救急	
12月	選択	
1月	外科	
2月	小児科	
3月		

※詳しくはホームページをご参照ください。

VOICE



研修責任者の声

腎臓内科部長
小林 克樹

研修担当をしています腎臓内科の小林です。当院の初期研修の目標は①救急病態への初期対応ができること、②3年目以降の専門研修へスムーズに繋げていくことです。無理をして詰め込み過ぎて、燃え尽きてしまうのは考え物ですが、かと言って時間を持って余してしまうのももったいないです。当院のプログラムは、その点バランスが取れていると思いますし、2学年併せても10名前後ですので臨機応変な細かい調整も可能です。初期の2年と後期の3年で、内科医あるいは小児科医としての堅牢な基礎を作ることを目標にしています。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R5採用)
白井 綾乃

当院は内科が豊富に揃っており、指導医の先生方との距離が近く、質問しやすい環境で、どの科でも丁寧な指導を受けることができます。救急外来では研修医1年目と2年目が共にfirst touchを行い、各科ローテーションでは自らの意見が治療に反映される場面も多く、日々主体的に診療にあたることができます。内科に興味がある方はもちろんのこと、初期研修医として基礎的な知識と臨床経験を積むのに最適な環境です。温かい雰囲気の中のびのびと成長できる環境が整っていると実感しますので、是非一度見学にいらして、“たまほく”ならではの良さを感じ取っていただければと思います。

研修プログラムの特徴

内科6か月(消化器・呼吸器・循環器各2か月)、救急部門3か月、外科3か月、麻酔科2か月、小児科2か月、地域医療1か月、産婦人科1か月、精神科1か月を必修プログラムとしています。

地域医療は当院及び近隣協力施設、離島等での研修、救急部門及び産婦人科は墨東病院あるいは順天堂大学医学部附属順天堂医院での研修、精神科は墨東病院での研修となります。

自由選択期間5か月については、研修医自身が将来の希望やキャリア形成を考慮して診療科を自由に組み合わせることができます。必修プログラムの診療科のほか、整形外科、脳神経外科、放射線科、泌尿器科、眼科、病理診断科を加えた診療科のなかから、1科目を月単位で最大5コマまで選択可能です。

VOICE



研修責任者の声

副院長
鈴木 聡子(臨床研修管理委員長)

当院は地域医療支援病院として認定され、地域医療機関との連携を密にした病院です。

当院では、研修を通じて疾患のみではなく患者さんを全体としてとらえ、プライマリケアのできる医師の基礎を学ぶことができます。優秀な指導医・スタッフのもと、アットホームなやさしさの中にも厳しさを忘れない充実した研修ができると確信しております。ぜひ、東部地域病院の門をたたいてみてください。病院見学も大歓迎です。ご連絡をお待ちしております。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R6採用)
梅田 悠貴

当院は中規模市中病院ということもあり、common diseaseを中心に各分野の頻度の高い疾患を経験することができます。研修医の人数も少ないため、上級医からの指導も受けやすく、自分のペースで学ぶことができるのも当院の魅力の一つです。さらにコメディカルや他職種との垣根が低く、相談しやすい環境にあります。一方で墨東病院や順天堂医院における研修もあり、マイナー疾患や専門性の高い知識を学ぶことができます。ぜひ一度見学に来てみてください。

北多摩北部医療圏(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)の中核病院として、二次救急医療を担っています。小児から超高齢者まで全年齢層を診療対象とし、地域医療支援病院として、地域住民に安全・安心な医療を提供しています。平成30年度に病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)、令和2年に外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)の認定を受け、チーム医療の充実に努めています。

診療科目

総合診療科、内科、内分泌・代謝内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、小児科、精神科、外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、麻酔科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、リウマチ膠原病科、病理診断科

病床数

一般337



〒189-8511 東京都東村山市青葉町一丁目7番1号
TEL 042-396-3811

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

東京都の東部地域(葛飾・足立・江戸川・墨田・江東・荒川の各区)における中核病院です。急性期疾患を対象にがん医療、救急医療を中心に二次医療を行っています。地域医療支援病院(都内指定第1号)として、地域の医療機関(診療所等)と積極的な連携を図りながら、医療の継続性を確保し、地域住民の方々に適正な医療を提供しています。

診療科目

内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科

病床数

一般314



〒125-8512 東京都葛飾区亀有五丁目14番1号
TEL 03-5682-5111

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

研修プログラムの特徴

スーパーローテート方式により、内科、外科、小児科、救急、緩和ケア、精神、地域医療、産婦人科を必修科目とし、64週で効率よく研修し、残り40週を選択診療科目として各研修医個別のプログラムを組むことが可能となっています。特に、重点医療(救急・がん医療)に関連する診療科である循環器内科、整形外科、放射線科(診断・治療)、検査科(病理)では研修体制も整っています。CPCのほか地域医療支援の研修会が行われています。

研修スケジュール(例)

	1年次		2年次	
4月	内科 + 一般外来	救急 (当直)	小児科	救急 (当直)
5月			産科 (日本医科大学多摩永山病院)	
6月			精神(桜ヶ丘記念病院)	
7月			地域医療(天本病院)	
8月	緩和ケア			
9月	循環器内科+一般外来			
10月	外科+一般外来		選択	
11月				
12月				
1月	麻酔科			
2月	救命救急 (日本医科大学多摩永山病院)			
3月				

VOICE



研修責任者の声

副院長
手塚 徹(臨床研修委員会委員長)

当院は、名前に「地域」とうたっております通り、地域のかかりつけ医の先生方や医療に携わる方々を様々なかたちで支援することで、地域住民の皆さんの生命と健康を支えていくという使命をもつ病院です。平常時は、救急医療やがん医療に重点をおき、自然災害や大規模事故の際には災害医療にも積極的に参加しております。当院の病床数は287床、常勤医は50人程度と中規模ではありますが、大学とは異なり各診療科別に部屋や区切りがあるわけではなく、アットホームな雰囲気の中で、ベテランの医師とも患者のことや進路の相談など気軽にコミュニケーションをとることができます。研修については各科指導医とマンツーマン体制でおこなっておりますのでキメの細かい医療を学ぶことができます。

研修プログラムについては、総合的な臨床医の育成を目指すことを基本としており、産婦人科・精神科・緩和ケア科を必修科として残しながら、40週間の選択期間において各研修医個別のプログラムを組めるようになっております。

多摩というと都心からだいぶ離れている印象がありますが、新宿から35分、近い将来リニア新幹線の発着駅の橋本からは10分の多摩センター駅から徒歩12分という立地で、東京都内ではありますが春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪化粧と四季折々の風景が楽しめます。この自然に恵まれた多摩の地で、ぜひとも研修をスタートしましょう。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R6採用)
坂下 和椰

初めまして！初期研修医1年目の坂下と申します。研修医生活では毎日が新しいことの連続で、少しずつではありますが自分の成長を実感する日々を送っています。

さて、当院では職員皆さんが一体となって私たちの研修を支えてくださっています。身近な2年目の研修医の先生をはじめ、指導医の先生、他の医療職の方々に質問しやすい環境が整っています。手技も豊富な一方、座学の時間もあり、バランス良く力を付けることができます。当院の魅力を実感して頂くためにぜひ一度見学にいらしてください！私たちと共に充実した2年間を送ってみませんか！お待ちしております！

研修プログラムの特徴

総合診療基盤を有する大規模精神科病院を基幹病院とするプログラムです。精神科医と、内科や外科などの指導医が、協同して指導にあたることにより、特に将来、精神科を志す者に必要な、総合的診療力を養成します。

研修期間を通じて、カンファレンス、講演会、当直等様々な機会に、精神科診療の実際に触れることができます。身体科の研修も非常に充実しており、内科、外科、麻酔科や放射線科については基幹病院で、熱心な指導医からマンツーマンに近い指導を受けることができます。また協力型病院との強力なネットワークを背景に、救急医療、小児科、産婦人科、その他専門的診療科についても、人気の研修病院で研修ができます。

2年間を通して、厚生労働省の定める内科24週、外科4週、精神科4週、救急部門12週(主に多摩総合医療センター8週、山手メディカル4週)、小児科4週、産婦人科4週、地域医療4週(当院)の研修を必須とする。松沢病院独自で整形外科4週、麻酔科4週、放射線科4週、脳卒中4週を必須とする。

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	内科	精神科
5月	精神科	救急
6月	外科	選択
7月	麻酔科	選択
8月	内科	小児
9月	内科	救命
10月	内科	脳卒中
11月	内科	選択
12月	放射線科	地域
1月	整形外科	産婦人科
2月	救急	選択
3月	内科	予備枠(選択)

VOICE



研修責任者の声

整形外科医長
吉田 滋之(初期臨床研修管理委員長)

当院での研修のメリットは合併症医療を経験できることです。精神科合併症医療では、患者さん自身が体調不良を表現することが困難で、発見から治療に至るまでの道のりも険しいです。こういった合併症医療の現状と、将来の精神科医療にとっての課題を体感できると思います。また、身体科と精神科の医師が、これほど協力して精神科患者さんの治療に取り組み、これほどお互いに相談しやすい環境で働ける病院は、全国でも数少ないと思います。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R5採用)
嶋貫 雄太

松沢病院では、初期研修から精神科疾患を有する患者に接する機会が多く、また当直業務では緊急措置診療の陪席という貴重な経験が積めるため、精神科志望の方にとっては非常に勉強になる二年間になると思います。また内科研修においては、上級医からマンツーマンで指導を受けられるため、ベテランの内科医が普段の診療場面において何を考えているのか共有できるのが魅力だと思います。自由選択では、東京都立病院機構に属する病院を含め、幅広い選択肢からローテーションを組むことができるため、どんな人にとっても満足のいく初期研修になると思います。

東京都南多摩保健医療圏(八王子・町田・日野・多摩・稲城の5市)の中核病院として、「地域医療支援病院」の承認を受け、地域の医療機関と密接に連携し、救急医療・がん医療を重点医療として取り組んでいます。特に、がん医療では、包括的ながん医療を提供できるよう平成25年7月から緩和ケア病棟を開設しました。

診療科目

内科、精神科、循環器内科、消化器内科、小児科、緩和ケア科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、検査科(病理科)

病床数

一般287



〒206-0036 東京都多摩市中沢二丁目1番2号
TEL 042-338-5111
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

当院は1919年開院の歴史を有しながら常に日本の精神科医療を牽引してきました。緑豊かな広大な敷地と最新の施設を有し、急性期精神科医療を中心とした専門性の高い精神疾患に対応すると共に、他の医療機関や保健・福祉施設などとの密接な連携を推進し、東京都における精神科医療の拠点としての役割を果たしています。

診療科目

精神科、内科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、放射線科、歯科、検査科

病床数

精神808 一般90



〒156-0057 東京都世田谷区上北沢二丁目1番1号
TEL 03-3303-7211
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。